

木、竹、廃木材などの植物そのものを原料とした 100%天然由来材料の生分解性プラスチック

GS BP Plant

近年、プラスチックゴミによる地球環境破壊問題は深刻になりつつあり、特に海洋に存在するマイクロプラスチック問題は世界的に生態系を破壊する壊滅的なレベルになりつつあります。2050年には海中に漂うプラスチックゴミの量が魚の量を上回る可能性を指摘しています。さらに既に我々人体にマイクロプラスチックが環境中から入りつつあるという研究報告もあります。

このような観点から、弊社では様々な生分解性材料を作っております。特にこの材料は木、竹、廃木材などの植物そのものを原料に用いて作ることが可能です。100%天然由来の生分解性成分からできているグレードもあります。またこの材料を使うことにより、リサイクルも促進できます。このように、限りなく地球に優しい材料を作ることを目指しています。またこの材料に弊社の技術である、セルロースナノファイバーを複合化させることも可能です。

引張強度 : 3 - 8 MPa

今後、強度の向上、他の機械的強度、熱特性も更新していきます。また、土壌、水中、海洋中での生分解性試験を行い、日本、欧米の生分解性認証も取得していく予定です。

